

応用生態工学会 2020年 Web 研究発表会

開催案内

◆問合せ先

応用生態工学会2020年web研究発表会事務局

E-mail:2020webcf@ecesj.com



<日時> 令和2年12月5日(土曜日) 9:00~17:30 【ウェビナー開催】

<会場> オンライン特設会場 (Zoomウェビナー 2会場)

<開催目的> 応用生態工学会では、新型コロナウイルス感染拡大の状況を踏まえて、第24回札幌大会を来年度に延期しました。但し、今年度の研究発表の機会を確保するため、令和2年12月5日(土)にオンライン研究発表会を開催します。

<プログラム> 発表54件予定

8:45 ~ 8:55 開会あいさつ (甲村会長)

【第1会場】

9:00~10:30 <セッションA>河川環境(1) 発表6件

10:30~10:45 <休憩>

10:45~11:15 <セッションA>河川環境(2) 発表2件

11:15~12:15 <セッションB>河川地形 発表4件

12:15~13:15 <休憩>

13:15~14:30 <セッションC>植生 発表5件

14:30~14:45 <休憩>

14:45~16:00 <セッションD>ハビタット 発表5件

16:00~16:15 <休憩>

16:15~17:30 <セッションE>環境DNA 発表5件

【第2会場】

9:00~10:00 <セッションF>産卵場 発表3件

10:00~10:45 <セッションG>魚類(1) 発表4件

10:45~11:00 <休憩>

11:00~12:00 <セッションG>魚類(2) 発表4件

12:00~13:00 <休憩>

13:00~14:00 <セッションH>底生動物(1) 発表4件

14:00~14:15 <休憩>

14:15~15:30 <セッションH>底生動物(2) 発表5件

15:30~15:45 <休憩>

15:45~17:30 <セッションI>その他 発表7件

<参加申込(視聴)>

- ・参加費用は無料です。参加申込は、11月13日(金)から学会HPで開始する予定です。
- ・参加申込は、会員(正会員・学生会員・賛助会員)→会員以外の順となります。会員以外の方の申込みについては、会員の申込み後に、人数を限定し、受付ける予定です。

注) 本プログラムは、一般社団法人建設コンサルタント協会CPD認定プログラムに申請予定です。

ウェビナー参加者の皆様へ（参加にあたっての留意事項）

応用生態工学会 2020 年 web 研究発表会事務局
応用生態工学会情報サービス委員会

◆参加者の皆様へ

1. 基本的事項

- ・ ZOOM ウェビナー（YouTube ライブ配信併用，後日 YouTube 動画視聴可）による研究発表会を開催します。なお，参加申込者人数によっては，ZOOM ミーティングでの実施に変更する可能性もあります。
- ・ 事務局では万全の備えを行いますが，操作の不手際，通信環境の不具合から，配信中に何らかのトラブルやプログラムの遅延が発生する可能性もあります。ご理解のほど，よろしくお願いします。
- ・ 速度低下対策として，有線 LAN が利用可能な方は，有線 LAN でご参加ください。特に，発表者の方はご配慮をお願いします。
- ・ 今回は 2 会場を開設します。現時点では，第 1 会場と第 2 会場を往来しての参加はできない予定です（参加人数によって変更する可能性あり）。参加申込時に選択した会場のみで参加してください。YouTube 動画を HP 上にアップロードいたしますので，他会場の発表については，後日，視聴してください。
- ・ 参加者へは，事務局より，ウェビナー URL をメールいたします（開催日の数日前を予定）。URL をクリックし，サイトが開きましたら，「ログイン名」と「メールアドレス」を入力してください。
- ・ ウェビナーの参加にあたっては，各自の PC 等に ZOOM インストールされます。なお，今回のアクセスはメールアドレスで管理されるため，ZOOM のアカウント未登録でも参加できます。
- ・ ウェビナーへの参加は，スマートフォンの ZOOM でも可能です。なお，スマートフォンの場合，ホストと参加者のビデオが on として利用した場合の通信量は，1 時間で約 500MB になります。参加者のビデオを off にすることで，通信量を低減させることができます。また ZOOM の表示画面を小さくする「詳細→ミーティングを最小化」ことで，通信量を節約する方法もあります。
- ・ YouTube ライブ配信アドレスは，メールまたは HP 等でご案内します。

2. 発表者の皆様へ

- ・ 発表者の発表に際しての留意事項については，11 月中旬に，学会 HP でご連絡します。

3. 一般参加者の皆様へ

- ・ 一般参加者につきましては，カメラ・マイクは off 設定での参加となる予定です。カメラ・マイクの off は，ホスト側（事務局）で設定いたします。

4. 発表者への質問

- ・ 発表者への質問は，Q&A 機能（又は，チャット機能）を使用する予定です。

5. 受講証明書

- ・ ウェビナー参加者について，希望者には受講証明書を発行します。参加申込時に，受講証明書の希望者は「受講証明書希望」を選択してください。後日，事務局からメールで PDF をご送付いたします。なお，受講証明書は，事務局が設定する一定以上の時間，ウェビナーに参加された方を対象に発行いたします。参加時間はアクセスログで確認します。受講証明書は，参加申込時に入力された氏名，所属で発行します。
- ・ なお，YouTube ライブ配信による視聴の場合は，事務局で視聴記録が把握できませんので，受講証明書を発行しません。各 CPD 登録機関の要領に沿って，各自で手続きを行ってください。

【研究発表会・一般講演内容(口頭発表)】

「○」発表者、タイトルの後の「研」は研究報告、「事」は事例報告

口頭発表 12月5日(土) — 9:00~17:30 [会場:第1会場]**セッションA 河川環境(1)**

座長:(未定)

- 9:00 OA-1 **河川合流部の生態的機能と保全方策:「研」**
○原田守啓
- 9:15 OA-2 **河川合流部の空間分布と形態区分の検討—木曾三川を例として—:「研」**
○横山綾華
- 9:30 OA-3 **(仮称)河川における実践的な植生管理方法の提案:「事」**
○野副健司
- 9:45 OA-4 **熊本県成道寺川におけるホタルの出現個体数の変動と環状道路工事の影響の関係:「研」**
○金子裕大
- 10:00 OA-5 **荒川太郎右衛門自然再生地における湿地環境の再生:「事」**
○渡辺 誠
- 10:15 OA-6 **中国地方一級河川における気候変動が河川水温に及ぼす影響についての検討:「研」**
○赤松 良久

10:30~10:45 — 休憩 —

セッションA 河川環境(2)

座長:(未定)

- 10:45 OA-7 **島田川支川を対象にした河川浚渫が魚類生息場に与える影響予測精度検証:「研」**
○加藤 琢己
- 11:00 OA-8 **複数種の分布域からみた河口干潟の種多様性を生み出す環境条件の解明:「研」**
○日浅菜月

セッションB 河川地形

座長:(未定)

- 11:15 OB-1 **幅広い流況下における砂州動態の簡易な分析手法~長良川における検討事例~:「研」**
○平野和希
- 11:30 OB-2 **河川が造った地形と生物多様性についての環境教育プログラム:「事」**
○倉本宣
- 11:45 OB-3 **揖斐川高水敷掘削後の土砂堆積と微地形・地表面状態の関係性:「研」**
○戸崎大介
- 12:00 OB-4 **耳川におけるダム通砂がヒゲナガカワトビケラに及ぼす影響の検討:「研」**
○大中臨

12:15~13:15 — 休憩 —

セッションC 植生		座長:(未定)
13:15	OC-1	Aster 属の絶滅危惧種, 礫河原のカワラノギクと干潟のウラギクの比較生態学: 「研」 ○倉本宣
13:30	OC-2	2019年台風19号の高潮により浸水した海岸林における樹種別の応答: 「研」 ○前岡夏槻
13:45	OC-3	甲府盆地を流下する河川における侵略的外来種ハリエンジュの遺伝子流動: 「研」 ○八重樫 咲子
14:00	OC-4	環境に配慮した高水敷掘削は、植物群集にどのような変化をもたらすか? : 「研」 ○森照貴
14:15	OC-5	道路事業に伴う絶滅危惧種スズメハコベの保全技術事例-4年間のモニタリング調査結果-: 「事」 ○今井久子
14:30~14:45 — 休憩 —		
セッションD ハビタット		座長:(未定)
14:45	OD-1	石礫床河川の早瀬の生息場寿命に関する実験的考察: 「研」 ○吉川敦希
15:00	OD-2	水生生物の生息環境を表現する「さとがわ指数」—トンボ類の分布に基づいた検証—: 「研」 ○東川 航
15:15	OD-3	イシガイ類・タナゴ類が生息する小河川の連続性・接続頻度の分析: 「事」 ○土方宏治
15:30	OD-4	環境要因によるため池環境(ため池の生物多様性にとっての環境)の評価方法の構築: 「研」 ○中川亜希子
15:45	OD-5	「親水性」と「魚類生息環境」の統合的な河川環境評価に向けた課題: 「研」 ○新田将之
16:00~16:15 — 休憩 —		
セッションE 環境DNA		座長:(未定)
16:15	OE-1	地域の生態系に配慮した魚道整備・維持管理に向けた取り組み: 「事」 ○大須賀麻希
16:30	OE-2	環境DNAによるイワナ在来個体群判定用プライマーの開発: 「研」 ○玉田貴
16:45	OE-3	環境DNA手法を用いた高津川流域における魚類相の網羅的・定量的な評価: 「研」 ○中尾遼平
17:00	OE-4	オオカナダモの定量モニタリングにおける環境DNA分析の活用について: 「研」 ○児玉貴央
17:15	OE-5	環境DNA分析を用いた砂防管内における環境調査の効率化の検討: 「事」 ○横山 良太

口頭発表 12月5日(土) — 9:00~17:30 [会場:第2会場]

セッションF 産卵場

座長:(未定)

- 9:00 OF-1 木曾川水系長良川扇状地におけるアユ個体サイズに着目した産卵環境の調査分析:
「研」
○鈴木崇史
- 9:15 OF-2 河川湧水が卵・仔魚期サケ (Oncorhynchus keta) に及ぼす負の影響:「研」
○山下 祥平
- 9:30 OF-3 天竜川における湧水流路に形成されたアユ産卵床の好適性評価:「研」
○高橋真司

セッションG 魚類(1)

座長:(未定)

- 9:45 OG-1 中小河川における水際部の環境が淡水魚類群集に及ぼす影響:「研」
○松寺駿
- 10:00 OG-2 個体群モデルを用いたコクチバス駆除シナリオの検証 :「研」
○松澤優樹
- 10:15 OG-3 ウキゴリ属魚類における河川定着過程:「研」
○満尾 世志人
- 10:30 OG-4 アユの河川遡上範囲とその関連要因について:「研」
○加藤 駿

10:45~11:00 — 休憩 —

セッションG 魚類(2)

座長:(未定)

- 11:00 OG-5 ウキゴリ属における河川加入後の分布様式:「研」
○佐藤 青
- 11:15 OG-6 農業用水路における魚類の生息場再生:水路でもバンプエの効果は見られるの
か?:「研」
○桑名志
- 11:30 OG-7 環境DNA分析による江の川支流のアユ生物量に影響を与える環境要因の検討:「研」
○宮園 誠二
- 11:45 OG-8 希少淡水魚ネコギギの生息環境改善手法とその効果:「研」
○大杉奉功

12:00~13:00 — 休憩 —

セッションH 底生動物(1)		座長:(未定)
13:00	OH-1	千曲川中流域におけるカゲロウ類の二次生産力の推定—現存量法を用いて—:「研」 ○平林公男
13:15	OH-2	平地河川における出水攪乱が底生動物の群集動態に及ぼす影響:「研」 ○上田航
13:30	OH-3	河川性底生動物量はウナギ生息量の制限要因か?:「研」 ○熊谷悠志
13:45	OH-4	河川生態系への金属影響の評価の際、付着藻類、底生動物、魚類のどれを調査すべきか?:「研」 ○難波広樹
14:00~14:15 — 休憩 —		
セッションH 底生動物(2)		座長:(未定)
14:15	OH-5	瀬と淵の水理学的変動を考慮した水系内の底生動物分布予測の検討:「研」 ○糠澤桂
14:30	OH-6	河畔林内部を飛翔する水生昆虫成虫の空間分布:「研」 ○中川智裕
14:45	OH-7	LAND USE IMPACT ON WATER QUALITY AND STREAM INVERTEBRATES IN INDONESIA:「研」 ○Satrio Budi Prakoso
15:00	OH-8	Influence of multiple stressors on the hyporheic organic matter decomposition and macro-invertebrates in gravel-bed rivers:「研」 ○ALAM MD KHORSHEID
15:15	OH-9	Estimation of lateral and longitudinal flight dispersal distances of an amphibiotic stonefly, <i>Alloperla ishikariana</i> , from the hyporheic zone in a gravel-bed river:「研」 ○Mirza ATM Tanvir Rahman
15:30~15:45 — 休憩 —		
セッションI その他		座長:(未定)
15:45	OI-1	ムカシヤンマ幼虫の移殖に向けた産卵・生息に必要な環境に関する実証調査:「事」 ○大崎 愛
16:00	OI-2	国営ひたち海浜公園におけるオオウメガサソウ保全に向けて2:「事」 ○佐々木 英代
16:15	OI-3	LED照明の色の違いが夜行性のトウキョウサンショウウオの活動量に及ぼす影響:「研」 ○堀切もも子
16:30	OI-4	浅間山管内で確認された稀産種ムツボシクモバチの生態情報について:「事」 ○柴田閑
16:45	OI-5	道路整備における保全対策技術～海浜植生の復元技術事例:「事」 ○桑原淳
17:00	OI-6	3次元精密計測による福岡県糸島市姉子浜の「鳴き砂」の保全の検討:「研」 ○清野 聡子
17:15	OI-7	北海道で繁殖するオオセグロカモメを対象とした洋上風力発電センシティビティマップ:「研」 ○佐藤夕夏